

注意

この情報は昨年度の入試情報です。
2013年度入試情報は6月ごろアップ予定です。

受験に関するQ&A

共通

Q 試験地による有利・不利はありますか？

A 全試験地で、同じ試験問題を使用しますので、試験地による有利・不利は生じません。

Q 現役・浪人で合否判定に有利・不利はありますか？

A 現役・浪人の違いによる合否の有利・不利は一切ありません。

Q 出願後に内容の変更はできますか？

A 「学部・学科・専攻」「試験地」「試験日」「入試方式・型」等について出願後に変更することは、一切認めていません。試験日程や出願学部、入試方式等は慎重に選び出願してください。なお、住所等の変更が生じた場合、入試部まで申し出てください。

Q 試験日自由選択制について教えてください。

A 試験日と学部・学科・専攻を自由に選んで受験できます。同一学部・学科・専攻を複数日受験できます。

Q 合格発表の方法について教えてください。

A 公募推薦入試、一般入試、センター試験利用入試は、発表日の正午に、龍谷大学ホームページに合格者の受験番号を掲載します。なお、ホームページでの合格発表は、学部・学科・専攻ごとに入試形態・入試方式・型別に行います。2教科型公募推薦入試と一般入試は、1試験日に複数出願できるので、同じ学部・学科・専攻に同じ受験番号が複数回掲載されることがあります。また、同一日程内で、同じ学部・学科・専攻に複数受験した一人の受験者が、複数合格している場合もすべての受験番号を掲載します。

Q 先に受験した公募推薦入試で合格した学部に入學手続Ⅰとして入学申込金を納めています。その後、一般入試で他の学部で合格しました。新たに合格した学部に入學したいのですが、もう一度入学申込金を納入しなければなりませんか？

A 本学では、入学時納入金充当制度(P.11を参照)を導入していますので、この場合、入学申込金を二重に納入する必要はありません。その際の手続方法は合格通知書ともにお知らせします。安心して自分の希望する学部の合格をめざし、自分にあった入試にチャレンジしてください。

Q 身体に障がいがあります。受験時に特別措置はありますか？

A 身体に何らかの障がいがあり、受験時に特別措置を希望する場合は、試験日の1ヶ月前までに入試部までご相談ください。
TEL: 075-645-7887 (入試部ダイヤルイン)

Q 高等学校卒業程度認定試験を受験し、大学入学資格を得たいと考えています。出願する際に必要な出願書類について教えてください。

A 高等学校卒業程度認定試験に合格し、出願される場合は、文部科学省発行の「合格証明書」または「合格成績証明書」を提出してください。合格見込みの場合は、「合格見込成績証明書」を提出してください。なお、2011年11月実施の同認定試験を受験する方で、公募推薦入試に出願する場合は、受験票の写しと、受験票に同送される「受験科目の決定について」の写しを提出してください。

Q 大学入学資格検定に合格しています。出願する際に必要な出願書類について教えてください。

A 大学入学資格検定に合格し、出願される場合は、文部科学省発行の「合格証明書」または「合格成績証明書」を提出してください。

Q 朝鮮高級学校を卒業しました。一般入試とセンター試験利用入試を受験するつもりです。出願にあたって、必要な証明書類について教えてください。

A 本学では、日本にある朝鮮高級学校12校を卒業した者、および卒業見込みの者について入学資格(受験資格)を認めています。出願の際は、卒業(見込み)証明書と調査書(または成績証明書)を提出してください。センター試験利用入試に出願する場合は、平成24年度大学入試センター試験に出願し、2012年1月に実施される試験を受験する必要があります。また、本学では現在、文部科学省が大学入学資格を認めている外国人学校に加え、本学独自に入学資格を認めている学校がありますので、入試部までお問い合わせください。

公募推薦入試について

Q 出願資格として調査書(全体の評定平均値)に基準点はありますか？

A 2教科型公募推薦入試では調査書(全体の評定平均値)に基準点はありませんが、その他の公募推薦入試については、各入試により異なります。詳細は、各入試の「出願資格」を参照してください。

Q 同一試験日に、同じ学部・学科・専攻に、2出願(併願)できますか？

A 2教科型公募推薦入試では同一試験日に、スタンダード方式・配点セレクト方式または高得点科目重視方式・2科目方式の中から学部に対応した2つの入試方式を使い、同じ学部・学科・専攻へ2出願することができます。※試験日が異なれば、学部・学科・専攻および入試方式・型を問わず出願が可能です。

Q 同一試験日に、2つの学部・学科・専攻に、2出願(併願)できますか？

A 2教科型公募推薦入試では同一試験日に、1つの入試方式・型を使って、2つの学部・学科・専攻に2出願できます。ただし、文学部、理工学部、短期大学部は他の学部との2出願はできません(学部内での2出願は可能)。

Q 2教科型公募推薦入試と学部独自推薦入試を両方受験することはできますか？

A 試験日が異なれば受験できます。

Q 公募推薦入試は、高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者、および大学入学資格検定合格者でも受験は可能ですか？

A 専門高校等対象推薦入試以外入試は受験できます。なお、2教科型公募推薦入試(2科目方式は除く)は、科目の点数に調査書(全体の評定平均値)の10倍の点数を加算し、総合点で合否判定します。高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者および大学入学資格検定合格者については、全体の評定平均値を一律3.5とし、その10倍の35点を調査書の点数として、科目の点数に加算します。

Q 2教科型公募推薦入試の合否判定について教えてください。

A 原則として、学部・学科・専攻ごとに各入試方式・型の受験者数をもとに募集人員を按分し、入試方式・型ごとに合否判定します。

Q 公募推薦入試で合格した後に一般入試やセンター試験利用入試への出願はできますか？

A 出願できます。本学の公募推薦入試は専願制ではありませんので、合格した後に一般入試やセンター試験利用入試に出願することができます。特に一般入試(A日程・B日程)や、センター試験利用入試(前期募集)では入学試験成績優秀者を対象にしたアカデミック・スカラシップ(入学時奨学金制度)(表紙裏のページを参照)がありますので、ぜひチャレンジしてください。

一般入試について

Q A日程、B日程の選択科目について教えてください。

A 文学部系の選択科目は、「日本史B」「世界史B」「政治・経済」「数学I・数学A・数学II」から1科目選択です(ただし、「政治・経済」はA日程のみ選択できます)。
理工学部系の理科学科は、「物理I・物理II」「化学I・化学II」「生物I・生物II」から1科目選択です(ただし、「生物I・生物II」を選択できる者は、環境ソリューション工学科の志願者に限りません)。

Q A日程、B日程において選択科目は出願時に解答する科目を届け出る必要はありますか？

A 出願時に届け出る必要はありません。試験当日に選択してください。理工学部の理科も同様です。

Q A日程、B日程において試験日が異なれば出題される問題の難易度は変わりますか？また、選択科目によって有利・不利はありますか？

A 本学の入試問題は、試験日や科目によって難易度に差が生じないよう質・量に配慮して作成し、不公平が生じないようにしていますので、試験日や選択科目による有利・不利はありません。もし、同一に判定する試験日程の試験日間や選択科目間で著しく平均点に差が生じた場合は、得点調整を行います。

Q A日程、B日程の合否判定について教えてください。

A 原則として、学部・学科・専攻ごとに各入試方式・型の受験者数をもとに募集人員を按分し、入試方式・型ごとに合否判定します。

Q A日程、B日程において4年制文学部(文学部除く)で実施される高得点科目重視方式はどんな入試ですか？

A 3科目(英語・国語・選択科目)のうち、高得点科目1つの点数が自動的に2倍になります。得意な科目がある受験生におすすめです。

●高得点科目重視方式(文系型) ※高得点科目が「英語」だった場合

英語200点 + 国語100点 + 選択科目100点

Q A日程、B日程において文学部と理工学部で実施される配点セレクト方式はどんな入試ですか？

A 文学部は英語重視型、国語重視型または選択科目重視型のいずれかを、理工学部は数学重視型または理科重視型を出願時に選択し、受験することができます。重視する科目の点数が2倍になりますので、得意な科目がある受験生におすすめです。

●英語重視型

英語200点 + 国語100点 + 選択科目100点

●国語重視型

英語100点 + 国語200点 + 選択科目100点

●選択科目重視型

英語100点 + 国語100点 + 選択科目200点

●数学重視型

英語100点 + 数学200点 + 理科100点

●理科重視型

英語100点 + 数学100点 + 理科200点

なお、理工学部の理科重視型は、学科により理科の重視科目(物理・化学・生物)に指定があります。出願時に注意が必要です。

Q 配点セレクト方式理科重視型での学科併願について教えてください。

A 物理を選択する場合は、6学科いずれの学科同士の組み合わせでも併願(2出願)が可能です。化学を選択する場合は、「物質化学科」と「環境ソリューション工学科」の併願(2出願)のみ可能。生物を選択する場合は、学科併願はできません。「環境ソリューション工学科」のみの出願(単願)になります。選択する科目によって併願できる学科が異なります。ご注意ください。

Q 同一試験日に、複数の学部・学科・専攻に、または、同一学部の異なる学科(専攻)に出願(併願)できますか？

A 同一試験日に、1つの入試方式・型を使って、複数の学部・学科・専攻に出願することができます。(P.9を参照)ただし、文学部は他の4年制学部とは併願できず、学部内で出願できる併願可能なパターンが決まっています。(P.17を参照)

Q 同一試験日に、1つの学部・学科・専攻に、2出願(併願)できますか？

A A日程・B日程では同一試験日に、2つの入試方式・型を使って同一学部・学科・専攻に2出願することができます。A日程・B日程とも同一試験日に、文学部はスタンダード方式文系型と配点セレクト方式英語重視型、国語重視型または選択科目重視型を、その他の文学部系はスタンダード方式文系型と高得点科目重視方式文系型を使い、同じ学部・学科・専攻へ2出願することができます。理工学部はスタンダード方式理工型と配点セレクト方式数学重視型または理科重視型を使い、同じ学科へ2出願することができます。同一試験日に同じ学部・学科・専攻へ2出願するには、必ずスタンダード方式を含めて出願しなければなりません。

- 試験日が異なれば、学部(学科・専攻)および入試方式・型を問わず出願が可能です。
- 学部によって実施する入試方式・型が異なりますので注意してください。
- 短期大学部はスタンダード方式文系型の実施のため、1出願になります。
- C日程はスタンダード方式文系型の実施のため、1出願になります。

Q 他の入試に出願はできますか？

A センター試験利用入試や公募推薦入試等、他の入試にも出願ができます。

センター試験利用入試について

Q 大学入試センター試験以外に龍谷大学の個別学力試験はありますか？

A 大学入試センター試験を利用する入試には前期募集・中期募集・後期募集があります。このうち、前期募集・後期募集は個別学力試験等を課さず、大学入試センター試験の成績のみを利用して合否を判定します。中期募集は、**本学独自試験と大学入試センター試験の総合点で合否判定します。ただし、短期大学部社会福祉学科はセンター試験の成績のみで判定します。**

Q センター試験利用入試(中期募集)は、どのような試験なのですか？

A 本学独自試験と大学入試センター試験の総合点で合否判定するものです。本学独自試験は、一般入試(B日程)(2/11・2/12 試験日自由選択制)と同一試験日、同一問題です(短期大学部こども教育学科を除く)。出願時に学部・学科・専攻と本学独自試験日を選択してください。この入試方式で受験する人は、必ず学部・学科が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験する必要があります。なお、短期大学部社会福祉学科はセンター試験の成績のみで合否判定します。

Q 他の入試に出願はできますか？

A 一般入試や公募推薦入試等、他の入試にも出願ができます。

Q センター試験利用入試で複数出願はできますか？

A できます。ただし、出願しようとする学部(学科・専攻)が利用する「解答すべき教科・科目」を大学入試センター試験で受験している必要があります。また、センター試験利用入試は前期募集・中期募集・後期募集があり、「解答すべき教科・科目」が異なることがありますので、大学入試センター試験の受験科目の選択は慎重に行ってください。なお、「解答すべき教科・科目」のうち1科目でも受験しなかった科目があれば、欠席扱いとし合否判定を行いませんので注意してください。この場合、受験料は返還いたしません。

Q 「解答すべき教科・科目」のうち、選択科目を所定の科目数以上受験している場合の合否判定はどうなりますか？

A 高得点順に教科・科目を採用し、合否判定します。

Q 過年度の成績を利用できますか？

A できません。2012年1月14日(土)・15日(日)に実施される大学入試センター試験の成績のみ有効です。